

## 間伐材のガス化・売電ビジネス(850KWe@60Hz)の採算計算例

(A-TEC製ガス化炉(1基)+ガス・エンジン発電機Jenbacher(850KWx1基))

No.	項目	間伐材	間伐材	間伐材
1		100%	100%	100%
2	全投資金額(合計,円@除く消費税)	1,174,400,000	1,174,400,000	1,174,400,000
3	発電設備能力 (KWe@グロス)	850	850	850
4	: 発電一ガス化 (KWe@グロス)	850	850	850
5	: 発電一ORC-1 (KWe@グロス)			
6	: 発電一ORC-1+ (KWe@グロス)			
7	ガス化・ガス精製装置一式(1系列)	721,600,000	721,600,000	721,600,000
8	ガスエンジン・発電装置一式(1系列)	156,900,000	156,900,000	156,900,000
9	ORC発電装置一式(1+系列)			
10	乾燥設備一式(1系列)	29,100,000	29,100,000	29,100,000
11	監視・制御装置一式	23,100,000	23,100,000	23,100,000
12	変電、系統接続費	26,400,000	26,400,000	26,400,000
13	土建、建屋、他(設備本体@16%)	148,900,000	148,900,000	148,900,000
14	輸入・通関・保険・輸送費	15,500,000	15,500,000	15,500,000
15	教育費(操作・保守)一式	19,900,000	19,900,000	19,900,000
16	設計費、プロジェクト管理費、他	33,000,000	33,000,000	33,000,000
17	年間稼働時間(h/Year)	8,040	8,040	8,040
18	原料費(円/トン)@未乾燥チップ受入時	6,000	8,000	10,000
19	: 含水率(%)	40.0%	40.0%	40.0%
20	: 熱量(MJ/Kg-LHV)	10.17	10.17	10.17
21	原料消費量(Kg/h)@乾燥投入前	838	838	838
22	: (トン/年)	6,734	6,734	6,734
23	: 熱量(KWm/h)	2,365	2,365	2,365
24	原料消費量(Kg/h)@乾燥処理後	529	529	529
25	ガス化: 投入原料熱量(KWm/h)	2,594	2,594	2,594
26	ガス化装置必要量(Kg/h)@ガス化炉投入	529	529	529
27	: 必要量(トン/年)	4,253	4,253	4,253
28	: 含水率(%)	5.0%	5.0%	5.0%
29	: 熱量(MJ/kg)	17.65	17.65	17.65
30	冷ガス化効率(%)(@ガス化炉)	85.00%	85.00%	85.00%
31	合成ガス熱量(kWth/h)	2,205	2,205	2,205
32	冷ガス化効率(%@乾燥機入口~ガス化出口)	93.22%	93.22%	93.22%
33	売電価格(FIT, 円/KWh)	40.00	40.00	40.00
34	ガスエンジン発電効率(%)	38.55%	38.55%	38.55%
35	総発電量(kW/h@グロス)	850	850	850
36	総発電量(MWh/年@グロス)	6,834	6,834	6,834
37	総合発電効率(%@グロス発電 w/ ORC/受入原料)			
38	: (%@グロス発電 w/o ORC/受入原料)	35.94%	35.94%	35.94%
39	: (%@ネット売電 w/o ORC/受入原料)	31.62%	31.62%	31.62%
40	ガス化発電効率(%@グロス発電 w/ ORC/ガス化原料)			
41	: (%@グロス発電 w/o ORC/ガス化原料)	32.77%	32.77%	32.77%
42	: (%@ネット発電 w/o ORCガス化原料)	28.84%	28.84%	28.84%
43	自家消費電力(総発電量@%)	12.00%	12.00%	12.00%
44	自家消費電力(KWh/h: 乾燥、発電量)	102	102	102
45	: (MWh/年: 乾燥、発電量)	820	820	820
46	売電発電量(KWe/h@Net)	748	748	748
47	: (MWh/年@Net)	6,014	6,014	6,014
48	発電/原料(KWe/Kg)(@dryer-Inlet w/ ORC)	1.015	1.015	1.015
49	: (KWe/Kg)(@Gasfier Inlet w/ ORC)	1.607	1.607	1.607
50	発電/原料(KWe/Kg)(@dryer-Inlet w/o ORC)	1.015	1.015	1.015
51	: (KWe/Kg)(@Gasfier Inlet w/o ORC)	1.607	1.607	1.607
52	原料費/売上(電力)(%)	16.80%	22.40%	27.99%

53	原料費/電力@ネット(円/KWh)	6.72	8.96	11.20
54	設備単価(万円/KWe@グロス)	138.16	138.16	138.16
55	投資採算性(円、年間当たり、以下、消費税除く)	金額(円/年)	金額(円/年)	金額(円/年)
56	電力売上額	240,556,800	240,556,800	240,556,800
57	原料費	-40,406,044	-53,874,725	-67,343,406
58	償却費(20年均一)	-58,720,000	-58,720,000	-58,720,000
59	人件費(1人x4シフト,日勤1人,@450万円/年)	-22,500,000	-22,500,000	-22,500,000
60	炭処分費(原料の3%@5千円)(有価で売却も)	-637,990	-637,990	-637,990
61	保守費(3.5%@設備費)	-41,104,000	-41,104,000	-41,104,000
62	保険料(売上@0.5%)	-1,202,784	-1,202,784	-1,202,784
63	運転経費・管理費(売上@1.5%)	-3,608,352	-3,608,352	-3,608,352
64	税引前利益(円/年)	72,377,630	58,908,949	45,440,268
65	フリーキャッシュフロー(円/年)	131,097,630	117,628,949	104,160,268
66	投資回収(年)	8.96	9.98	11.27
67	投資利回り(%@税引前利益/総投資額)	6.16	5.02	3.87
68	正味現在価値(NPV:円@資本コスト1.5%)	1,076,367,858	845,128,935	613,890,013
69	DCF法・内部利益率(IRR:%)	9.27%	7.50%	6.21%

**Note:**

- 1) ガス化炉(EU製:2.2MWthx1基)、及びガスエンジン発電機(EU製、Jenbacher、850KWex1基) + ORC-1(EU製,定格65KWex1基+ORC-2(米国製、定格10KWex1)等の設備費は、共に現状の概算価格です(消費税別と諸経費も同様)  
設備価格は為替(TTM)価格(Euro=142.79円)に基づく現在の概算見積合計価格(標準仕様・立地状況次第)です。受注時の為替価格の他、材費高騰等現地価格、ORC有無(No.9)、工事範囲とチップ原料単価(No.18)及び今後の詳細仕様等により総投資額(No.2)等は変動します
- 2) 全投資額(No.2)は、本体装置に直接拘わる主な費用総額であり、例えば、土地全体の整備費、チップ粉砕機、原料チップ受入・計量設備、保管倉庫、系統接続負担金等の附帯費用は除外です
- 3) 原料の種類、品質(熱量,Max/Min篩ロス)等により、原料必要量(No.21&22)、ガス化収率、発電量の他、原料確保の難易度/価格等により、上記の採算性等は変わります(何れも保証値外です)
- 4) 原料(チップ材)消費量(Kg/h@No.21、t/年@No.22)は、その保有熱量(MJ/Kg-LHV)により変わります  
より正しくは原料熱量分析が必要です、その値により原料消費量(No.22:t/年)も変わります  
尚、ここでは原料熱量(A:MJ/Kg、No.20,29)は下記の推算式より推定して  
 $A(MJ/Kg)=18.7222-0.2139 * (\text{含水率}\%)$
- 5) 輸入・輸送費(No.14)は、顧客設置場所迄の大型車(40' Plantform/HQコンテナ)による輸入及び国内輸送費概算値です、その他、海上輸送費、保険料、輸入手数料等を含みます
- 6) 上記費用は、標準のA-Tec仕様の価格です。但し、土建・建屋費(No.13,配管・配線工事を含む)、変電・系統接続費(No.12)は、概算(参考標準工事)金額であり、施行実施業者の再見積が必要で
- 7) 機器設計費、プロジェクト管理費、他(No.16)は、本プロジェクト関連の設計、管理(EPC)費等の費用です。全体の採算性評価上の理由から、費用計上して
- 8) 総合発電効率は、各発電機端子の総発電量(No.35)を原料チップ熱量(No.23)で夫々割った効率値(%)(ORC付(w/ ORC:No.37)、ORCなし(w/o ORC:No.38)です  
更にネット発電効率(No.39)はネット発電量(No.46)を原料チップの乾燥機投入前熱量(No.23)で割った効率値です  
同様にガス化炉発電効率は、各発電機端子の総発電量(No.35)を、原料乾燥後のガス化装置投入前の原料チップ熱量(No.25)で夫々割った効率値(%)(ORC付(w/ ORC:No.40)、ORCなし(w/o ORC:No.41)です(乾燥機付帯なしのガス化発電装置単体の発電効率)  
更にネットガス化発電効率(No.42)はネット発電量(No.46)をガス化炉投入前原料熱量(No.23)で割った効率値です
- 9) IRR値(No.69)は、FIT適用20年間のFree-Cash-Flow(No.65)に基づく計算結果です  
尚、この間の課税は考慮していません
- 10) 採算計算(投資額、原料必要量、発電量)等の数値は、単なる計算例です。

11)設備価格、採算計算の金額は全て消費税を含まない数値です

12)原料消費量(No.No.22)、及び発電効率(No.37～No.42)等のA-Tecガス化装置の性能仕様は理想的な最高の性能値であり、発電装置の性能保証値ではありません

以上(2023/04/01)  
(合)バイオ燃料

